

1.	②	11.	①	21.	②	31.	①	41.	③
2.	④	12.	③	22.	④	32.	①	42.	①
3.	②	13.	④	23.	②	33.	④	43.	③
4.	②	14.	④	24.	②	34.	②	44.	②
5.	②	15.	①	25.	①	35.	①	45.	②
6.	①	16.	④	26.	④	36.	①	46.	①
7.	③	17.	④	27.	④	37.	②	47.	①
8.	④	18.	④	28.	③	38.	③	48.	②
9.	②	19.	③	29.	②	39.	①	49.	①
10.	④	20.	③	30.	①	40.	③	50.	④

1.

解答 ②

【解説】

英語表現「in a row」は、「連続で」という意味です。間に休みや中断を挟むことなく、物事が次々と続く様子を表します。例えば、「3 日連続で」は **for three days in a row** と表現します。選択肢①「一列に」は **in a line** で、**row** の別の意味から来る紛らわしい選択肢です。③「結局は」は **in the end**、④「要するに」は **in short** です。

◆補足：row は「列」という意味を持つため **in a row** は「一列に」とも訳せますが、「連続で」という時間的な意味で使われることが非常に多いです。**five wins in a row** (5 連勝) のように、スポーツの文脈でもよく使われます。

2.

解答 ④

【解説】

英単語「**behavior**」は、「行動、振る舞い、態度」という意味の名詞です。人や動物が特定の状況でどのように動くか、そのやり方を指します。例えば、「彼の奇妙な振る舞い」は **his strange behavior** と表現します。選択肢①「信念」は **belief**、②「利益」は **benefit**、③「背景」は **background** です。

◆補足：**behavior** は、動詞 **behave** (振る舞う) の名詞形です。イギリス英語では **behaviour** と綴ります。**good behavior** (善行) や **bad behavior** (悪行) のように、道徳的な評価を伴うことも多いです。

3.

解答 ②

【解説】

「形、体型」という意味に最も近い英単語は②の **shape** です。物体の外側の輪郭や、人の体の格好を指します。例えば、「星形」は **a star shape** と表現します。他の選択肢について、① **shade** は「日陰」、③ **share** は「分け前、共有」、④ **sheep** は「羊」という意味です。

◆**補足**：shape は動詞としても使われ、「～を形作る」という意味になります。get in shape や stay in shape という表現は、「(運動などで) 体調を整える、健康を維持する」という意味の重要な熟語です。

4.

解答 ②

【解説】

英単語「**delighted**」は、「大喜びして、非常に喜んで」という意味の形容詞です。とても嬉しいという強い感情を表します。例えば、「その知らせを聞いて彼は大喜びした」は **He was delighted to hear the news.** と表現します。選択肢①「遅れて」は **delayed**、③「削除されて」は **deleted**、④「繊細な」は **delicate** です。

◆**補足**：delighted は、動詞 **delight** (～を大喜びさせる) の過去分詞形です。人を主語にして、**be delighted with/at** ～ (～に大喜びする) や **be delighted to do** (～して嬉しい) の形で使われます。喜びの原因となる物事を説明する際は、-ing 形の **delightful** (人を喜ばせるような、素敵な) を使います。

5.

解答 ②

【解説】

英単語「**traffic**」は、「交通、交通量」という意味の名詞です。道路を行き交う車、バイク、バスなどを指します。例えば、「交通渋滞」は **a traffic jam** と表現します。選択肢①「悲劇」は **tragedy**、③「旅行」は **travel**、④「熱帯の」は形容詞の **tropical** です。

◆**補足**：traffic は、原則として数えられない不可算名詞です。そのため、**a traffic** や **traffics** という形にはなりません。「交通量が多い」は **heavy traffic**、「交通量が少ない」は **light traffic** と表現します。

6.

解答 ①

【解説】

「～の世話をする」という意味に最も近い英語表現は①の **care for** です。病人、子供、高齢者など、助けを必要とする人や動物の面倒を見ることです。例えば、「病気の母の世話をする」は **care for my sick mother** と表現します。他の選択肢について、② **call for** は「～を必要とする」、③ **come for** は「～を迎えに来る」、④ **count on** は「～を頼りにする」という意味です。

◆補足：**care for** ～ は、**look after** ～ や **take care of** ～ とほぼ同じ意味で使われます。また、**Would you care for another cup of tea?**（お茶をもう一杯いかがですか？）のように、「～を好む、～が欲しい」という意味で、丁寧な申し出に使われることもあります。

7.

解答 ③

【解説】

「経済的に」という意味に最も近い英単語は③の **economically** です。経済や財政の観点から、ということを示します。例えば、「経済的に困難な」は **economically difficult** と表現します。他の選択肢について、① **ecologically** は「生態学的に」、② **equally** は「等しく」、④ **essentially** は「本質的に」という意味の副詞です。

◆補足：**economically** には、「節約して、経済的に」という意味もあります。これは形容詞 **economical**（経済的な、節約になる）から来ています。一方、「経済学の」という意味の形容詞は **economic** です。この **economic** と **economical** の使い分けは頻出なので注意が必要です。

8.

解答 ④

【解説】

「裕福な」という意味に最も近い英単語は④の **wealthy** です。多くのお金や財産を持っていることを表す形容詞です。例えば、「裕福な実業家」は **a wealthy businessman** と表現します。他の選択肢について、① **healthy** は「健康な」、② **worthy** は「価値がある」、③ **weary** は「疲れ果てた」という意味です。

◆補足：**wealthy** は、名詞 **wealth**（富、財産）の形容詞形です。類義語の **rich** よりも、土地や株などの資産も含めた、より安定的で大規模な富を持つニュアンスがあります。

9.

解答 ②

【解説】

英単語「**cooperative**」は、「協力的な、協同の」という意味の形容詞です。他人と助け合ったり、一緒に働いたりすることに前向きな様子を表します。例えば、「彼は非常に協力的だ」は **He is very**

cooperative. と表現します。選択肢①「創造的な」は creative、③「競争の激しい」は competitive、④「保守的な」は conservative です。

◆補足：cooperative は、動詞 cooperate（協力する）の形容詞形です。名詞形は cooperation（協力）です。接頭辞 co-（共に）と、動詞 operate（働く、操作する）から成り立っており、「共に働く」というのが核となるイメージです。

10.

解答 ④

【解説】

「安全」という意味に最も近い英単語は④の safety です。危険や危害から守られている状態を指す名詞です。例えば、「安全第一」は Safety first. と表現します。他の選択肢について、① society は「社会」、② variety は「多様性」、③ anxiety は「不安」を意味します。

◆補足：safety は、形容詞 safe（安全な）の名詞形です。副詞形は safely（安全に）です。a safety belt（安全ベルト）や a safety helmet（安全ヘルメット）のように、安全のための道具を表す複合語でもよく使われます。

11.

解答 ①

【解説】

「（テレビやラジオの）番組」という意味に最も近い英単語は①の program です。例えば、「好きなテレビ番組」は my favorite TV program と表現します。他の選択肢について、② progress は「進歩」、③ project は「計画、事業」、④ process は「過程、プロセス」を意味します。

◆補足：program には他に、「計画、予定」（a training program）や「コンピュータのプログラム」といった意味もあります。イギリス英語では、テレビ番組などを指す場合は programme という綴りが使われることが多いです。

12.

解答 ③

【解説】

「親戚」という意味に最も近い英単語は③の relative です。血縁や結婚によってつながりのある家族の一員を指します。例えば、「彼は私の遠い親戚です」は He is a distant relative of mine. と表現します。他の選択肢について、① representative は「代表者」、② resident は「住民」、④ rival は「ライバル、競争相手」です。

◆補足：relative は、形容詞として使われると「相対的な、比較上の」という意味になります。動詞形は relate（～を関連づける）です。名詞の relation も「関係」の他に「親戚」という意味で使われることがあります。

13.

解答 ④

【解説】

英単語「fine」は、形容詞として「良い、元気な、晴れた」などの意味でよく知られていますが、名詞として使われる場合は「罰金」を意味します。法律や規則を破ったことに対する罰として支払うお金を指します。例えば、「駐車違反の罰金」は a parking fine と表現します。選択肢①「線」は line、②「鉱山」は mine、③「ぶどうの木」は vine で、いずれも発音が似ているため注意が必要です。

◆補足：多義語の意味を問う問題は、文脈判断能力を試す上で重要です。a fine of 10,000 yen（1万円の罰金）のように、具体的な金額と共に使われることが多いです。

14.

解答 ④

【解説】

「完璧に、完全に」という意味に最も近い英単語は④の perfectly です。全く欠点がなく、申し分ない方法で、ということを示します。例えば、「私は彼の言うことを完全に理解した」は I understood him perfectly. と表現します。他の選択肢について、① personally は「個人的に」、② properly は「適切に、ちゃんと」、③ previously は「以前に」という意味です。

◆補足：perfectly は、形容詞 perfect（完璧な）の副詞形です。しばしば、fine, well, normal, capable などの形容詞を強調するために使われます（例：I feel perfectly fine. 全く元気です）。

15.

解答 ①

【解説】

「品目、項目」という意味に最も近い英単語は①の item です。リストや集まりの中の一つ一つの要素を指します。例えば、「買い物リストの最初の項目」は the first item on the shopping list と表現します。他の選択肢について、② idea は「考え」、③ issue は「問題」、④ image は「印象、像」を意味します。

◆補足：item は非常に幅広く使える便利な単語で、商品の「品目」、議題の「項目」、ニュースの「記事」など、文脈に応じて様々なものを指すことができます。

16.

解答 ④

【解説】

「刑務所」という意味に最も近い英単語は④の **prison** です。犯罪者が罰として収監される建物を指します。例えば、「刑務所に入る」は **go to prison** と表現します。他の選択肢について、① **poison** は「毒」、② **person** は「人」、③ **prize** は「賞」という意味です。

◆補足：prison に収監されている人は **prisoner**（囚人）と呼ばれます。類義語の **jail** /dʒeɪl/ も「刑務所」ですが、jail は比較的軽い罪や、裁判を待つ間の勾留に使われることが多いのに対し、prison はより重い罪で、長期の刑に服する場所を指す傾向があります。

17.

解答 ④

【解説】

英単語「**mystery**」は、「謎、不思議なこと」という意味の名詞です。説明したり理解したりするのが難しい、あるいは不可能な事柄を指します。例えば、「その事件は謎に包まれている」は **The case is shrouded in mystery.** と表現します。選択肢①「不幸」は **misery**、②「多数」は **majority**、③「記憶」は **memory** です。

◆補足：mystery の形容詞形は **mysterious**（神秘的な、不可解な）です。**a mystery novel**（推理小説）のように、フィクションのジャンル名としても使われます。

18.

解答 ④

【解説】

「脳」という意味に最も近い英単語は④の **brain** です。頭蓋骨の中にある、思考、記憶、感情、身体活動などを司る器官を指します。例えば、「人間の脳」は **the human brain** と表現します。他の選択肢について、① **grain** は「穀物、粒」、② **drain** は「排水管」、③ **brand** は「銘柄、ブランド」という意味で、発音が似ているので注意が必要です。

◆補足：brain は、比喩的に「知性、頭脳」という意味でも使われます（例：Use your brain! 頭を使いなさい!）。また、優秀な人を指して「彼は組織の頭脳だ」のように言うこともあります。**brainstorming**（ブレインストーミング）は、自由にアイデアを出し合う会議手法を指す言葉です。

19.

解答 ③

【解説】

英単語「society」は、「社会」という意味の名詞です。共通の法律や文化の下で、コミュニティを形成して生活する人々全体を指します。例えば、「現代社会」は **modern society** と表現します。選択肢①「安全」は **safety**、②「満足」は **satisfaction**、④「秘密」は **secret** です。

◆補足：society には、「(共通の関心を持つ人々の) 協会、団体」という意味もあります（例：a historical society 歴史協会）。形容詞形は **social** (社会的な)、動詞形は **socialize** (人と交流する) です。

20.

解答 ③

【解説】

英単語「**though**」が接続詞として使われる場合は「～にもかかわらず」という意味ですが、副詞として文末に置かれる場合は、「～だけれども、でもね」といった、前の文の内容に軽い対比や補足を加える意味になります。口語で非常によく使われます。選択肢①「～を通して」は **through**、②「厳しい」は **tough** で、スペルや発音が似ているため注意が必要です。④「それゆえに」は **thus** や **therefore** です。

◆補足：文末で使われる **though** は、**but** や **however** よりもはるかに口語的で、思いついたように情報を付け加えるニュアンスがあります。例：It's a bit expensive. It's nice, though. (ちょっと高いね。でも素敵だけどもね。)

21.

解答 ②

【解説】

英単語「**opinion**」は、「意見、考え」という意味の名詞です。ある事柄に対する、個人の判断や信念を指します。客観的な「事実 (fact)」とは区別される、主観的な見方です。例えば、「私の意見では」は **in my opinion** と表現します。選択肢①「玉ねぎ」は **onion** で、発音が似ているため注意が必要です。③「開会」は **opening**、④「反対」は **opposition** です。

◆補足：**opinion** の動詞形は **opine** で、「意見を述べる」というフォーマルな言葉です。**public opinion** (世論) や **a difference of opinion** (意見の相違) といった複合語やフレーズも重要です。

22.

解答 ④

【解説】

「慈善 (事業)」という意味に最も近い英単語は④の **charity** です。助けを必要としている人々にお金や物、援助を与えるための組織や、そうした行為そのものを指します。例えば、「慈善団体に寄付す

る」は **donate to charity** と表現します。他の選択肢について、① **clarity** は「明瞭さ」、② **chariot** は「(古代の) 戦車」、③ **chapter** は「(本の) 章」です。

◆補足：charity の形容詞形は **charitable** (慈悲深い) です。a **charity event** (慈善イベント) や a **charity concert** (チャリティコンサート) のような複合語もよく使われます。

23.

解答 ②

【解説】

英語表現「**come about**」は、「(予期せず) 起こる、生じる」という意味です。物事がどのようにして、あるいはなぜ起こったのかを尋ねる際によく使われます。例えば、「その事故はどうして起こったのですか」は **How did the accident come about?** と表現します。選択肢①「～に偶然会う」は **come across** ～、③「～を思いつく」は **come up with** ～、④「実現する」は **come true** です。

◆補足：**come about** は、類義語の **happen** や **occur** とほぼ同じ意味で使えますが、**happen** よりもややフォーマルで、何らかのプロセスを経て結果が生じるというニュアンスを含むことがあります。

24.

解答 ②

【解説】

「～以内に」という意味に最も近い英単語は②の **within** です。ある期間や範囲の内側にあることを示す前置詞です。例えば、「3 日以内に」は **within three days**、「徒歩圏内に」は **within walking distance** と表現します。他の選択肢について、① **without** は「～なしに」、③ **toward** は「～の方へ」、④ **throughout** は「～の至る所に」という意味です。

◆補足：**in** と **within** の違いに注意が必要です。**in three days** は「3 日後に」、**within three days** は「3 日経たないうちに」という差があります。

25.

解答 ①

【解説】

「参加する」という意味に最も近い英単語は①の **participate** です。活動やイベントに加わり、その一員となることを指します。**participate in** ～ の形で使われることが多いです。例えば、「議論に参加する」は **participate in a discussion** と表現します。他の選択肢について、② **anticipate** は「～を予期する」、③ **hesitate** は「ためらう」、④ **separate** は「～を分ける」という意味です。

◆補足：**participate** は、類義語の **take part in** よりもフォーマルな響きを持つ言葉です。名詞形は **participation** (参加) と **participant** (参加者) で、どちらも重要です。語源はラテン語の **pars** (部分) と **capere** (取る) で、「一部を取る」というのが核となるイメージです。

26.

解答 ④

【解説】

「厳しい」という意味に最も近い英単語は④の **strict** です。規則などが厳格で、人々がそれに従うことを強く求める様子を表します。人に対しても、規則に対しても使うことができます。例えば、「厳しい先生」は **a strict teacher**、「厳格な規則」は **strict rules** と表現します。他の選択肢について、① **straight** は「まっすぐな」、② **strange** は「奇妙な」、③ **strong** は「強い」という意味です。

◆**補足**：**strict** の名詞形は **strictness**（厳格さ）、副詞形は **strictly**（厳密に）です。**strictly speaking**（厳密に言えば）という独立分詞構文は頻出の表現です。

27.

解答 ④

【解説】

英単語「**label**」は、「荷札、ラベル、レッテル」という意味の名詞です。物に取り付けられ、その内容、所有者、宛先などの情報を示す紙や布などを指します。例えば、「値札」は **a price label** と表現します。選択肢①「研究室」は **laboratory**、②「法律」は **law**、③「水準」は **level** です。

◆**補足**：**label** は動詞としても使われ、「～にラベルを貼る」という意味になります。また、比喩的に「(人)に～というレッテルを貼る」という、否定的な意味で使われることもあります（例：**be labeled as a failure** 失敗者のレッテルを貼られる）。

28.

解答 ③

【解説】

英単語「**outlook**」は、「見通し、見込み」という意味の名詞です。将来の状況がどのようになりそうか、という予測を指します。例えば、「経済の見通し」は **the economic outlook** と表現します。選択肢①「外見」は **look** や **appearance**、②「法律違反者」は **outlaw**、④「結果」は **outcome** や **result** です。

◆**補足**：**outlook** は、**out**（外を）と **look**（見る）が組み合わさった言葉で、「外を見ること」から「将来を見通すこと」という意味に発展しました。また、「(人生などに対する) 考え方、態度」という意味で使われることもあります（例：**a positive outlook** 前向きな考え方）。

29.

解答 ②

【解説】

英語表現「result in ～」は、「(結果として) ～に終わる、～という結果になる」という意味です。主語が原因となり、in の後ろに来る目的語がその結果となります。例えば、「その事故は彼の死という結果になった」は The accident resulted in his death. と表現します。選択肢①「～から生じる」は result from ～ で、因果関係が逆になるため注意が必要です。③「～に参加する」は take part in ～、④「～に頼る」は rely on ～ です。

◆補足：result in は「原因 → 結果」の順で文が構成されるのに対し、result from は「結果 ← 原因」の順になります。この二つの使い分けは、因果関係を正確に表現する上で非常に重要です。

30.

解答 ①

【解説】

「(人に) ～させてあげる」という意味に最も近い英単語は①の let です。使役動詞の一つで、相手がしたいことを「許可」するニュアンスを持ちます。例えば、「彼に行かせてあげなさい」は Let him go. と表現します。他の選択肢も使役動詞ですが、② make は「強制的に～させる」、③ have は「(当然のこととして) ～してもらう」、④ allow は「(公式に) ～するのを許す」となり、意味合いが異なります。

◆補足：let は、let + 目的語 + 動詞の原形 の形をとるのが最大の特徴です。同じく許可を表す allow は to 不定詞をとる (allow O to do) ため、文法的な使い分けが重要です。Let's go. の 's は us の短縮形で、「私たちが行くことを許しなさい」が元の意味です。

31.

解答 ①

【解説】

「～を批判する」という意味に最も近い英単語は①の criticize です。人や物事の欠点や悪い点について、不満を表明することを指します。criticize A for B の形で「B のことで A を批判する」と使われることが多いです。他の選択肢について、② create は「～を創造する」、③ circulate は「循環する」、④ celebrate は「～を祝う」という意味です。

◆補足：criticize の名詞形は criticism (批判) と critic (批評家) です。形容詞形 critical は「批判的な」の他に、「重大な、危機的な」という重要な意味も持つので注意が必要です。

32.

解答 ①

【解説】

英語表現「**rather than** ～」は、「～よりはむしろ」という意味です。二つのものを比べて、一方を選ぶ、あるいは一方を好むという気持ちを表します。例えば、「私は家にいるよりはむしろ外出したい」は **I would rather go out than stay home.** のように **would rather A than B** の構文でもよく使われます。選択肢②「～と同様に」は **as well as** ～、③「～の代わりに」は **instead of** ～、④「～の他に」は **other than** ～ です。

◆補足：**instead of** ～ が単純な「代替」を表すのに対し、**rather than** ～ は話者の「選択」や「好み」のニュアンスを含むことが多いです。後には名詞、動名詞、原形不定詞など、様々な形が来ることができます。

33.

解答 ④

【解説】

「～を調べる、点検する」という意味に最も近い英単語は④の **check** です。何かが正しいか、安全か、あるいは許容範囲内かを確認するために、よく見る・調べることを指します。例えば、「出かける前に窓を全部確認する」のように使います。他の選択肢について、① **chase** は「～を追いかける」、② **cheer** は「～を応援する」、③ **choose** は「～を選ぶ」という意味です。

◆補足：**check** は名詞としても使われ、「点検、検査」の他に、アメリカ英語では「小切手」やレストランの「勘定書」という意味も持ちます。**check in** (チェックインする)、**check out** (チェックアウトする) などの句動詞も日常生活で頻繁に使われます。

34.

解答 ②

【解説】

英単語「**academic**」は、「学問の、大学の」という意味の形容詞です。学校、特に大学での勉強や研究に関連することを表します。例えば、「学業成績」は **academic performance**、「学術的な経歴」は **an academic career** と表現します。選択肢①「経済の」は **economic**、③「自動の」は **automatic**、④「運動の」は **athletic** です。

◆補足：**academic** は、名詞として「大学教員」を指すこともあります。また、**be academic** で「現実離れしている、非実用的な」という意味になることもあります。

35.

解答 ①

【解説】

「骨」という意味に最も近い英単語は①の **bone** です。人や動物の体を支える、硬い組織を指します。例えば、「骨折」は **a broken bone** と表現します。他の選択肢は発音が似ていますが、② **cone** は「円錐」、③ **zone** は「地帯」、④ **tone** は「音色、口調」という意味です。

◆補足：**bone** は、**dinosaur bone**（恐竜の骨）のように他の名詞と組み合わせられて使われることも多いです。また、**bare-bones** となると「必要最低限の」という形容詞として使われることもあります。

36.

解答 ①

【解説】

「貿易、取引」という意味に最も近い英単語は①の **trade** です。国と国の間で、あるいは人々の間で商品やサービスを売買することを指します。例えば、「自由貿易」は **free trade** と表現します。他の選択肢について、② **grade** は「等級、学年」、③ **trend** は「傾向」、④ **treat** は名詞で「ごちそう、もてなし」を意味します。

◆補足：**trade** は動詞としても使われ、「～を取引する、交換する」という意味になります。**trade A for B**（A を B と交換する）の形で使われることも多いです。

37.

解答 ②

【解説】

英単語「**crime**」は、「犯罪」という意味の名詞です。法律に違反する行為で、罰せられる可能性のあるものを指します。例えば、「犯罪を犯す」は **commit a crime** と表現します。選択肢①「群衆」は **crowd**、③「叫び声」は **cry** や **shout**、④「危機」は **crisis** です。

◆補足：**crime** の形容詞形は **criminal** で、「犯罪の」または名詞として「犯罪者」を意味します。**crime rate**（犯罪率）や **crime prevention**（犯罪防止）といった複合語も重要です。

38.

解答 ③

【解説】

「～を大量生産する」という意味に最も近い英語表現は③の **mass-produce** です。機械などを用いて、製品を大規模かつ効率的に生産することを指します。例えば、「大量生産された製品」は **mass-produced goods** と表現します。他の選択肢について、① **make progress** は「進歩する」、② **make up for** は「～を埋め合わせる」という意味です。④ **manufacture** も「～を製造する」という意味ですが、**mass-produce** は特に「大量に」という点を強調します。

◆補足：**mass-produce** は、**mass**（大衆、大量）と **produce**（生産する）が組み合わせられた複合動詞です。名詞形は **mass production**（大量生産）です。

39.

解答 ①

【解説】

「能力」という意味に最も近い英単語は①の **ability** です。何かをすることができる、肉体的または精神的な力や技能を指します。the ability to do の形で使われることが非常に多いです。例えば、「言語を学ぶ能力」は the ability to learn languages と表現します。他の選択肢について、② **activity** は「活動」、③ **anxiety** は「不安」、④ **stability** は「安定」を意味します。

◆**補足**：ability は、形容詞 **able**（できる）の名詞形です。類義語の **capacity** は潜在的な「収容能力、受け入れる能力」、**skill** は訓練によって習得した「技能」というニュアンスの違いがあります。

40.

解答 ③

【解説】

「決定、決心」という意味に最も近い英単語は③の **decision** です。複数の選択肢について考えた末に、ある一つの結論に至ることを指します。例えば、「最終決定」は the final decision と表現します。他の選択肢について、① **division** は「分割、部門」、② **discussion** は「議論」、④ **direction** は「方向、指示」です。

◆**補足**：decision は、動詞 **decide**（～を決める）の名詞形です。make a decision（決定を下す）というコロケーションは非常に重要です。形容詞形 **decisive** は、「決定的な、断固とした」という意味になります。

41.

解答 ③

【解説】

「経路、道筋」という意味に最も近い英単語は③の **route** です。ある場所から別の場所へ至る、特定の道順を指します。例えば、「バスの路線」は a bus route、「最短経路」は the shortest route と表現します。他の選択肢について、① **root** は「根」で、route と同音異義語なので注意が必要です。② **roof** は「屋根」、④ **rule** は「規則」です。

◆**補足**：route の発音は、アメリカ英語では /raʊt/（ラウト）と /ru:t/（ルート）の両方が使われますが、イギリス英語では /ru:t/ が一般的です。

42.

解答 ①

【解説】

英単語「term」は、「用語」と「期間」という二つの主要な意味を持つ名詞です。①専門分野で使われる「用語」、②学校の「学期」や大統領の「任期」といった、特定の目的のために定められた「期間」を指します。選択肢②「チーム」は team、③「涙」は tear、④「順番」は turn です。

◆補足：term は多義語であり、他にも複数形の terms で「(契約などの) 条件」や「(人間) 関係」といった意味も持ちます。in terms of ～ (～の観点から) という熟語も非常に重要です。文脈に応じて意味を正確に把握する能力が求められます。

43.

解答 ③

【解説】

英単語「staff」は、「職員、スタッフ」という意味の名詞です。特定の会社や組織で働く人々全体を指す集合名詞です。例えば、「ホテルの全職員」は all the hotel staff と表現します。選択肢①「物」は stuff で、発音が似ているため注意が必要です。②「段階」は stage、④「階段」は stair です。

◆補足：staff は、アメリカ英語では単数扱い (The staff is...)、イギリス英語では複数扱い (The staff are...) されることが多いです。一人の職員を指す場合は a member of staff や a staff member のように表現します。

44.

解答 ②

【解説】

「大多数」という意味に最も近い英単語は②の majority です。全体の半分以上を占める、より大きな部分や集団を指します。例えば、「学生の大多数」は the majority of students と表現します。他の選択肢について、① minority は「少数派」で、majority の明確な対義語です。③ majesty は「威厳」、④ maturity は「成熟」を意味します。

◆補足：majority は、形容詞 major (主要な、大きい方の) の名詞形です。a large majority (圧勝)、a slim majority (僅差の過半数) といった表現も使われます。

45.

解答 ②

【解説】

英単語「correct」は、形容詞として「正しい、正確な」という意味です。間違いや誤りがないことを示します。例えば、「正解」は the correct answer と表現します。選択肢①「集める」は動詞の collect、③「接続する」は動詞の connect、④「共通の」は形容詞の common です。

◆補足：correct は動詞としても使われ、その場合は「～を訂正する、修正する」という意味になります。名詞形は correction（訂正）、副詞形は correctly（正しく）です。対義語は、否定の接頭辞 in- を付けた incorrect（不正確な）です。

46.

解答 ①

【解説】

「(利益・収入) をもたらす」という意味に最も近い英語表現は①の bring in です。ビジネスや仕事などが、お金を生み出すことを指します。例えば、「その事業は多くの利益をもたらした」は The business brought in a lot of profit. と表現します。他の選択肢について、②bring up は「～を育てる、～を話題に出す」、③bring about は「～を引き起こす」、④bring back は「～を持ち帰る、～を思い出させる」という意味です。

◆補足：bring in は、お金だけでなく、「(新しい法律など) を導入する」や「(専門家など) を招き入れる」といった意味でも使われます。

47.

解答 ①

【解説】

「抗議」という意味に最も近い英単語は①の protest です。何かに対する強い反対や不満を、言葉や行動で表明することを指します。例えば、「抗議デモ」は a protest march と表現します。他の選択肢について、②process は「過程」、③progress は「進歩」、④project は「計画」という意味です。

◆補足：protest は、名詞として使う場合は /'proʊtest/（プロウテスト）のように前にアクセントが置かれ、動詞として「～に抗議する」という意味で使う場合は /prə'test/（プロテスト）のように後ろにアクセントが置かれます。この発音の違いも重要です。

48.

解答 ②

【解説】

「資金、基金」という意味に最も近い英単語は②の fund です。特定の目的のために集められ、用意されたまとまったお金を指します。複数形の funds で使われることも多いです。例えば、「研究資金」は research funds と表現します。他の選択肢について、①bond は「絆、債券」、③found は動詞で「～を設立する」、④pond は「池」です。

◆補足：fund は、動詞として「～に資金を供給する」という意味でも使われます。fundraising（資金調達）という複合名詞も、NPO 活動や政治の文脈で頻出します。

49.

解答 ①

【解説】

英単語「immigration」は、「(外国からの) 移住、入国」という意味の名詞です。他の国から永住目的で入ってくることを指します。例えば、「入国管理局」は **the immigration office** と表現します。選択肢②「想像力」は **imagination**、③「模倣」は **imitation** です。④「(外国への) 移住」は **emigration** で、**immigration** とは方向が逆になります。

◆**補足**：immigration の動詞形は **immigrate**、移住者は **immigrant** となります。接頭辞 **im-** は **in-** と同じで「中へ」を意味します。一方、**emigration** の接頭辞 **e-** は **ex-** と同じで「外へ」を意味します。この接頭辞の違いで、入ってくるのか (**in**)、出ていくのか (**out**) を区別することができます。

50.

解答 ④

【解説】

「理想的な」という意味に最も近い英単語は④の **ideal** です。考えられる限り最も優れており、完璧であると思われる状態を指します。例えば、「理想的な解決策」は **an ideal solution** と表現します。他の選択肢について、① **idle** は「怠惰な、何もしていない」、② **identical** は「全く同じの」、③ **legal** は「合法の」という意味です。

◆**補足**：ideal は、名詞 **idea** (考え、理念) の形容詞形です。名詞としても使われ、「理想」そのものを指します。副詞形は **ideally** (理想的に言えば) です。
